

産業廃棄物処理計画書

2018年 5月 10日

福山市長 様

提出者

住所 福山市木之庄町一丁目16番24号

氏名 興和建设工業(株)代表取締役 光成 昭博

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 084-925-0677

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	興和建设工業株式会社
事業場の所在地	福山市木之庄町一丁目16番24号
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1, 2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			
—			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組)	

 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成 29 年度)実績量

計画：今年度(平成 30 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	110	90	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	406	300	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	188	150	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	37	25	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	11989	10000	4811	4300	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石膏ボード	297	250	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13,036	10,818	4,811	4,300	0	0	0	0	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	110	90	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
木くず	406	300	0	0	405	300	0	0	1	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	188	150	0	0	188	150	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	37	25	1	1	1	1	0	0	0	0
鋳さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	7179	6000	0	0	4169	3500	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石膏ボード	297	250	0	0	246	230	0	0	246	230
石綿含有産業廃棄物	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,225	6,818	1	1	5,008	4,181	0	0	249	230

別紙 2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	職別工事業(設備工事業を除く)
②事業の規模	資本金 2 0 0 0 万円
③従業員数	1 9 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類（コンクリートがら）→自社中間処理（破碎・選別）→販売 がれき類・ガラスくず→他社最終処分（埋立） その他の産業廃棄物→他社中間処理（焼却・破碎・選別・圧縮・熔融・切断・焼成）→販売又は委託処分

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 作業において埋立処分の抑制をすると共に、産業廃棄物の中間処理での再生、減量を実施する。
②計画	(今後実施する予定の取組) 手作業による解体・分別をし産業廃棄物の発生を抑制する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・紙くず・繊維くず・木くず・金属くず・コンクリートがら・アスコンがら・ガラス陶磁器くず・その他がれき類・廃石膏ボード・建設混合廃棄物・石綿含有廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物 建設リサイクル法及びその基本方針に基づき、最良の処理方法をふまえた解体・分別の実施方法を検討し実施する。
② 計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・紙くず・繊維くず・木くず・金属くず・コンクリートがら・アスコンがら・ガラス陶磁器くず・その他がれき類・廃石膏ボード・建設混合廃棄物・石綿含有廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物 発生する廃棄物の種類、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、作業員に定期的に教育等を行う。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 搬入された廃棄物をすみやかに再生材にし、売却する
③ 計画	(今後実施する予定の取組) 製造した再生材をすみやかに売却していく

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) _____
②計画	(今後実施する予定の取組) _____

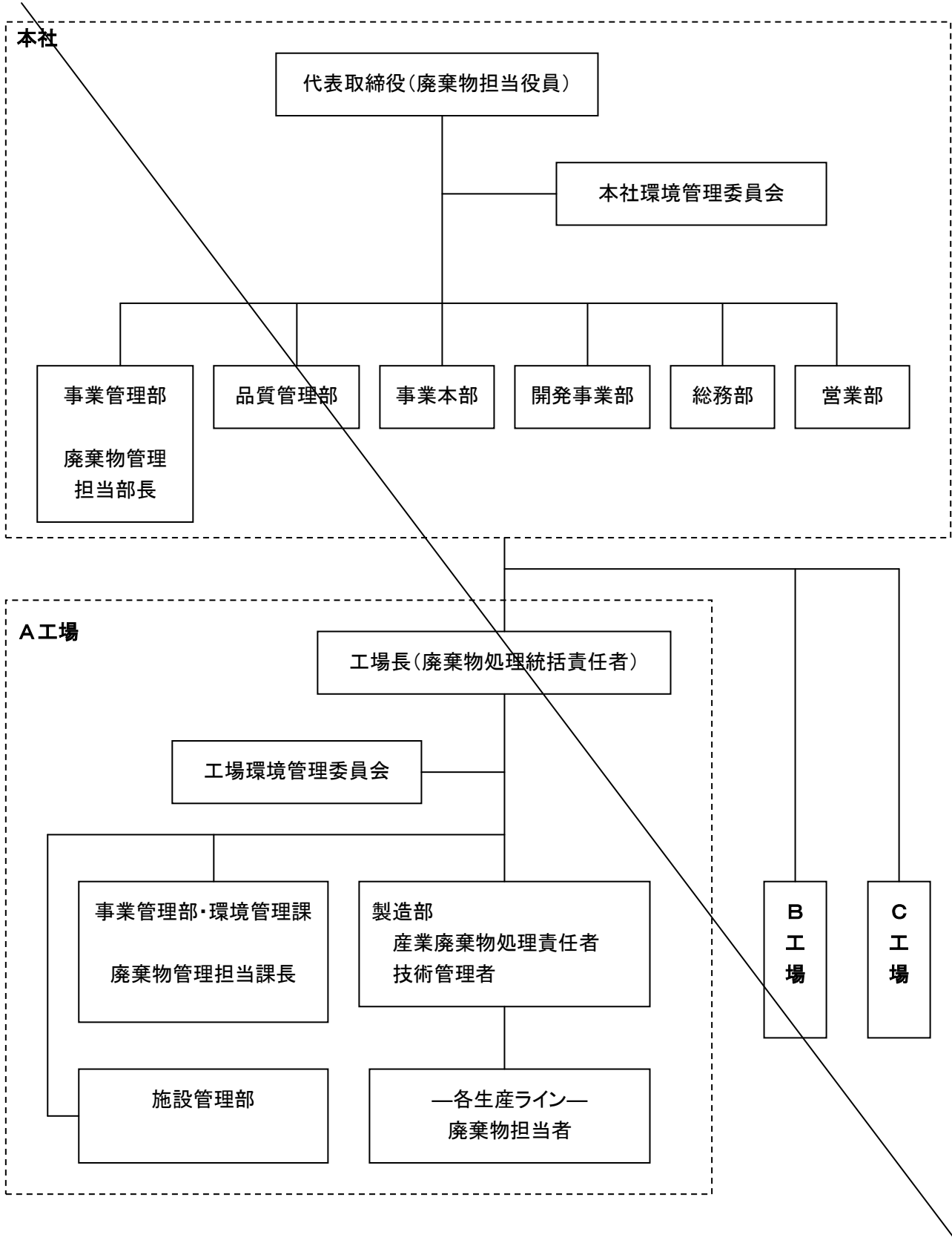
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) _____
②計画	(今後実施する予定の取組) _____

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 建設リサイクル法及びその基本方針に基づき、廃棄物の種類ごとに最良の処理方法で処分会社と適正な委託契約を締結する。
②計画	(今後実施する予定の取組) 手作業による解体・分別をし、産業廃棄物の発生を抑制する。 発生する廃棄物の種類、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、作業員に定期的に教育等を行う。

管理体制図の例



管理体制図

